



(1) 「第 6 回チャリティ公演—いきいき笑転会（仮称）」開催のご案内

毎年恒例となってきた当法人が主催するチャリティ公演は、今年で第 6 回目をむかえます。今回は、第 3 回チャリティ公演でご出演いただいた三遊亭兼好師匠を再びお招きし、落語を楽しむ会を開催いたします。

兼好師匠は、平成 10 年（28 歳の時）にタウン誌記者などを経験したサラリーマン生活を辞め、三遊亭好楽師匠の二番弟子として入門されました。平成 20 年 5 月には、有望な若手落語家として「第 13 回林家彦六（八代目林家正蔵）賞」（同賞は第 14 回を最後に委員長逝去で廃止）を受賞、同年 9 月に真打ちに昇進して「兼好」を襲名されました。

そして、平成 26 年には、「平成 25 年度彩の国落語大賞」を受賞されました。この賞は、彩の国さいたま芸術劇場が、平成 17 年に創設した「彩の国さいたま寄席～四季彩亭」に出演した若手落語家の中から、年間で最も優れた演者を観客の投票をもとに選出して贈る賞で、歴代の大賞受賞者の中には、林家たい平、柳家花緑、立川談春など現在人気上昇中の落語家があり、将来の落語会のスターとなる登竜門として注目されている賞です。

公演開催要領は以下の通りです。

①開催日時：平成 27 年 12 月 13 日（日）14:00～16:00（開場 13:30）

②開催場所：日比谷図書文化館 B1F 日比谷コンベンションホール

東京都千代田区日比谷公園 I-4 TEL 03-3502-3340

（最寄駅：丸の内線・日比谷線・千代田線「霞が関駅」、三田線「内幸町駅」、日比谷線・千代田線「日比谷駅」、JR「新橋駅」）

③演者：三遊亭兼好師匠 と お仲間

③木戸 銭：前売り券/予約 2000 円（当日券 2500 円）

会場の定員は 200 名です。前売り券の購入/予約をご希望の方は、できるだけ早く事務局あるいは当法人役員宛てにご連絡いただきたく存じます。

(2) OK バジより嬉しいニュースが届く

OK バジは、2 ヶ月にわたる日本一時帰国を終え、8 月 11 日に無事カトマンズに戻られ、同地に 26 日まで滞在、在住ビザを更新すること、日本の支援者が集めた地震救援金を政府管轄の救援金口座を経ず、直接に被災校の復興支援に充てるための送金方法の調査に努められていました。

直近に届いた OK バジの手紙で、在住ビザ更新（1 年間有効）は認められ、さらにこれまでの功績が評価され今後はより簡単な手続きで更新が可能となったこと、また地震救援金については、送金目的の表記方法を工夫すれば、一定額までの送金は可能であるとの感触を得たので、取りあえず 20 千ドル程度の送金を試行したいとのご報告がありました。

(3) 「OK バジの講話」を聞いた小学生の感想文

当法人の会員・アドバイザーである中村国敬さんは、毎年新宿区立小学校 10～12 校の主に 5、6 年生を対象に、国際理解教育の一環として「OK バジの講話」を聞く授業に協力されています。そして、話を聞いた小学生たちから、素晴らしい感想文が OK バジに届けられています。それらを読むと、OK バジの話がしっかりと生徒たちに受け止められていることがわかります。今年届いた感想文を OK バジのご好意でお借りし、素晴らしい感想の一部を抜粋という形ですが、会員の皆様に以下ご紹介いたします。

・私はネパールの子ども達の生活を耳にして、感動と厳しさが伝わってきました。一人一つではなく、一人ひとかけら、みんなで分かち合う心からの優しさが感じられました。また、女子は学校へ行けないということや仕事をしなければならないという想像もつかない環境が目に見えてとても心が痛みました。・・・私にも何かできることはないのかと考えました。私も OK バジさんのように心優しくてなんでも進んで物事ができるようになりたいです。そして、私は泉に一つ石を投げることができる人間になると決めました。(6年生)

・私はバジさんの講演で自分の課題を見つけることができました。それは毎日塾に行く時自転車か歩きで行くこと、毎日学校から帰ったら靴並べと掃除をすることです。なぜなら、私たちはすごく、ものすごく恵まれ・・・数えきれないほどの「当たり前」があります。でも、「当たり前」じゃない子どもたちが世の中にはたくさん、たくさんいます。・・・もう一つバジさんにお礼を言いたいことがあります。それは私に新たな「夢」まで与えてくれたことです。私は将来グランドホステスになりたいです。国際的な仕事なので、それを通して国際的に交流し、国同士で助け合うようにしたいです。(5年生)

・OK バジさんのお話を聞いて学んだことが三つあります。一つ目は、世界には学校に行かずに家の手伝いをしていて子どもがたくさんいるということ。・・・子どもはみんな学校に通っていると思っていましたが、・・・当たり前だと思っていたことでも、それをできない人がいることを学びました。二つ目は、一人が始めたことが、周りに広がり、大きなこととなるということです。OK バジさんが一人で始めた支援が、今では 1500 人が協力していることはとてもすごいことだと思います。私もあるもので、今から、ここから、自分から人の助けになることをしていきたいです。三つ目は、貧しくても幸せでいることができるということです。・・・一つしかないあめを砕き子どもみんなで分けていたという話を聞いてとても感動しました。・・・自分のことだけでなく、相手のことを考えられるような人になりたいです。(6年生)

・“Like a spring, the beginning of all things is small”、すべてのことの始まりは小さなことだということが私の中でとても好きな言葉になり、この言葉を生かし、いろいろなボランティアを OK バジさんのようにしていけたら、私の中でとてもいい勉強だと思います。(6年生)

・私が垣見さんの授業で一番学習したのは、皆で分かち合う事の大切さです。私は友達のうれしい話を聞くと、“へ～”だけで終わってしまうので、自分も分かち合えるような人になりたいです。(6年生)

・私は、最初バジさんがネパールに 21 年間もいるということを知った時、「え～、ネパールでそんなに面白いのかな」と思いました。けれども、人を喜ばせるため、助けるために 21 年間もいたのは、とても優しくていい人だなと思えました。ネパールの子どもたちの服を見た時「え～」と思いました。・・・今の私だったら直ぐ新しいものを買ってもらいます。・・・私はこれを聞いてユニセフ募金などに協力したいと思えました。(5年生)

≪編集後記≫OK バジの話は僅か 2 時間でも、小学生にちゃんと響いているのに、政治世界の話は 100 時間以上審議しても理解が進んでいない。話の中身が異なるとはいえ、本物のもつ言葉の説得力の違いを感じています。(編集担当:KT)

囃されて万灯ゆらぐ風の盆 篠崎代士子

認定 NPO 法人 いきいきフォーラム草の根支援

〒113-0023 東京都文京区向丘 1-7-8 コミュニティ・スペースほのぼの内

TEL/FAX 03-3816-5346 E-Mail f-kusanone@tcn-catv.ne.jp

<http://www1.tcn-catv.ne.jp/ikiiki-kusanone>